

## 市立高等専門学校の設置について

令和7年2月の教育子ども委員会において、設置に向け具体的な準備に着手すると報告していた高等専門学校（博多工業高校に併設）について、現在の検討状況を報告するもの。

### 1. 背景

#### ○高度デジタル人材の不足

AIやデータサイエンス等の分野は、技術者不足が顕著で今後ますます深刻化することが予想されているが、高校3年間の学びだけでは、高度デジタル人材の育成が不十分

#### ○高度専門人材の需要の高まり

福岡市では、本社機能や知識創造型産業をはじめとする成長性のある分野の企業誘致を推進しており、専門性の高い人材の需要が高まることが見込まれる

### 2. 求められる学校像

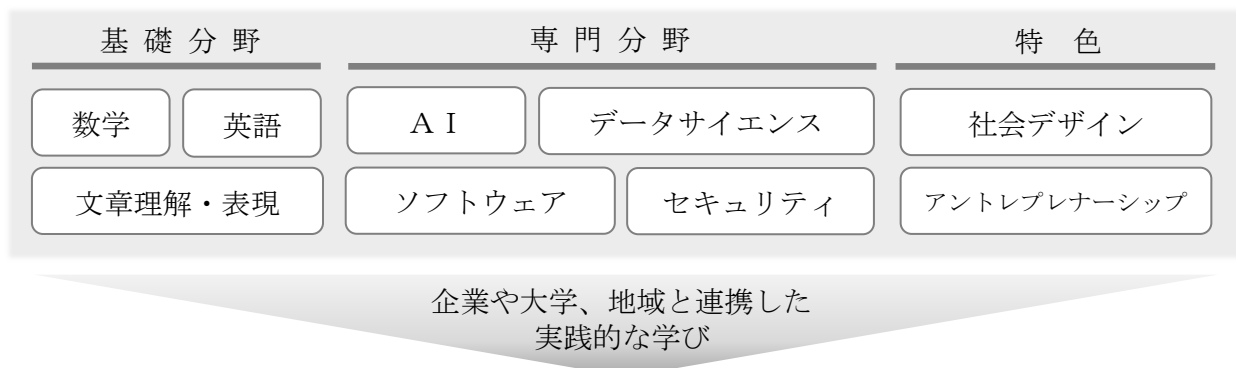
#### ○即戦力となる人材の育成

卒業後、即戦力として活躍できる人材を育成し、地場企業をはじめ、高付加価値なビジネス分野、成長分野の企業へ人材を供給

#### ○地域課題・社会課題の解決

産学官の連携による市内中小企業のDX推進など、地域・社会課題の解決を行うとともに、高度な情報技術に関する教育・研究活動を社会へ還元

### 3. 教育内容（イメージ）



高度な情報技術を活用・展開し、社会に新しい価値を生み出すことのできる人材

### 4. 定員

市立中学校から高等専門学校への進学実績、学校規模やクラス間交流によるコミュニティの多様化・活性化の観点などを踏まえ、1学年80人（40人×2学級）を予定

#### 【参考1】市立中学校から高等専門学校への進学実績

令和4年度卒業生：74人、5年度卒業生：97人、6年度卒業生：81人（平均84人、全体の約1%）

#### 【参考2】中学生ニーズ調査（令和7年9月16日から10月10日まで）

対象：市立中学校3年生（13,002人）、回答率：64% ⇒ 市立高専を受験したい：287人

### 5. 教員

設置基準やカリキュラムを踏まえると、校長1名に加え、一般科目12名、専門科目13名の計26名以上の常勤の教員が必要となる見込み ※授業のサポート等のため、別途非常勤職員等が必要

## 6. 学校施設

### (1) 博多工業高校校舎の活用

ものづくりの環境を活かした**工業全般の実践的な学びの提供**が可能なことに加えて、校舎や設備など**既存のリソースを活用した効率的な学校運営**が期待される

### (2) 設置基準との整合・他施設の活用検討

高等専門学校**の施設面積等**については、国において、学科数や学級数に応じた**設置基準**が定められており、当該基準を踏まえると、少なくとも約4,300㎡の床面積が必要となるが、博多工業高校の**既存校舎の活用のみでは施設面積が不足するため、約2,300㎡の増築が必要**

学校像や教育内容を踏まえた市立高専の**魅力向上**及び**コスト・工期の縮減**の観点から、他の**市有施設の活用可能性**について調査・検討を実施

### (3) 旧産学官連携施設（延床面積：2,693㎡）の活用

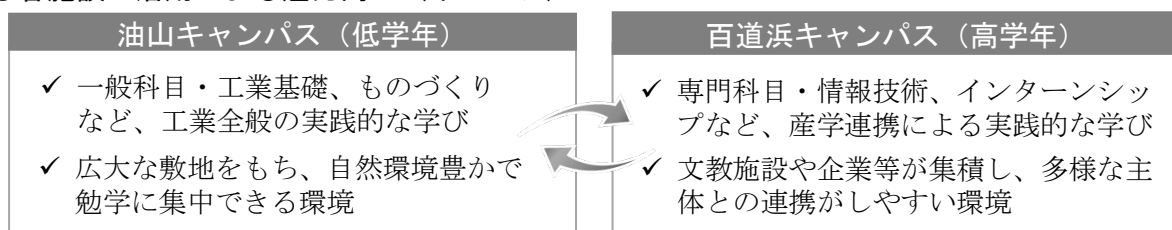
- 旧産学官連携施設は、情報関連産業が集積する百道浜地区に位置しており、現在活用方法を検討している状況
- 当該施設を活用することで**周辺企業等と連携した実践的な学びの提供**が可能であることに加えて、博多工業高校での増築を伴わずに**設置基準上の必要面積を満たすことができ、コスト・工期の大幅な縮減を図ることが可能**

○増築と改修する場合の**コスト(概算)、工期の比較** ※2,300㎡、R6工事の実績単価で試算

〔コスト〕増築：15億2千万円、改修：4億7千万円 → 約10億5千万円の縮減

〔工期〕増築：約4年、改修：約2年 → 約2年の短縮 ※設計及び工事の期間

○各施設の活用による**魅力向上(イメージ)**



百道浜地区は市立高専の学びの内容と親和性が高く、学校の**魅力向上**が見込まれることや、**コスト・工期の縮減**の観点から、**旧産学官連携施設を活用し、2キャンパス制とする方向で検討を進める**

## 7. スケジュール

高等専門学校の設置にあたっては国の認可が必要なため、カリキュラムや運営体制、施設等を詳細に検討した後、令和9年度の認可申請、10年度の認可、**11年4月の開校を目指す**。

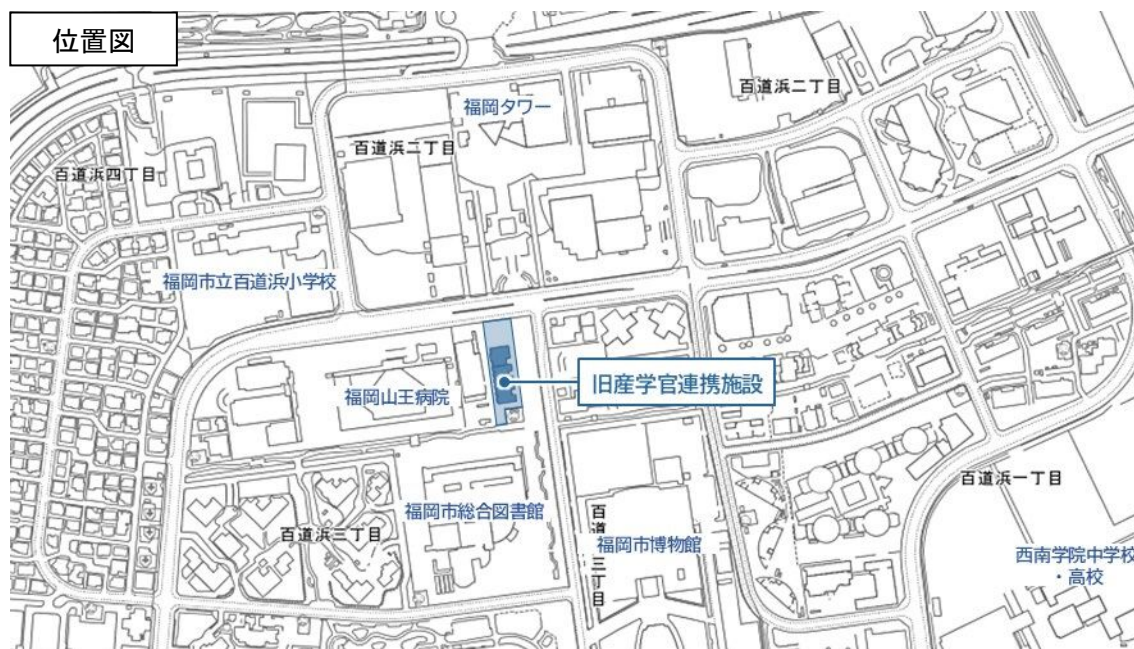
	R7	R8	R9	R10	R11
認可申請	文科省説明・事務相談		申請	認可	開校
教育課程等	カリキュラム検討		広報・入試		
運営体制	勤務条件検討・教員確保			採用	
施設整備	施設検討	施設設計	工事・備品整備		

## 【参考】旧産学官連携施設について

### ○施設概要

所在地	早良区百道浜3-8-34
敷地面積	約2,399㎡
延床面積	約2,693㎡
建築年・構造	平成13年竣工 / 鉄筋コンクリート造 / 4階建
周辺施設	〔文教施設〕福岡市総合図書館、福岡市博物館 〔公的支援機関〕九州先端科学技術研究所、福岡システムLSI総合開発センター 〔民間企業〕メディア・情報通信業など

### 位置図



### 施設外観

